キャラクター名: 夜神あずら(やがみ･あずら)

プレイヤー名:

シンドローム	オルクス ソラリス	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	中学生
オプショナル		年齢	中学生	性別	女
覚醒	渇望	衝動	嫌悪	初期侵食率	32 %
出自	疎まれた子	経験	トラウマ	邂逅	叶真白

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	2	0	0			2
社会	5	0	0			5

HP	24
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉	7	1
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
死人に口なし手足あり	交渉	5r+8		13		侵蝕7 要:3 手:4
-ゾンビパーティ-	交渉	8r+8	100%	18		装甲無視
命なき盾		5r+8		回避		侵蝕3
力の法則		0	100%	5D		侵蝕4 ダメージ+5D R1回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
(すごい服)	
ウェポンケース	
ボイスチェンジャー(IC)	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
動物使い	ＰP.84LM	N		
くすみ	Pともだち	N 殺人鬼		
せいいち	P 純愛	N 恥辱		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	10	残り財産P：	7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ:ソラ	2	2	メジャー	-	-	シンドロ		
効果：	C-2(3)下限7							
絶対の恐怖	1	3	メジャー	視界	-	<交渉>		
効果：	射撃　攻撃力+1(2)　装甲無視							
要の陣形	1	3	メジャー	-	3体	シンドロ		
効果：	3体化　シナリオ1(2)回							
リフレックス:ソラ	2	2	リ		自身	シンドロ		
効果：	C-2(3)下限7							
命の盾	1	1	リ		自身	<交渉>		
効果：	<交渉>ドッジ							
妖精の手	3	4	オート	視界	単体			
効果：	判定直後　判定ダイス1つ10に　判定1回、シナリオ3(4)回							
力の法則	3	4	オート	視界	単体		100%	
効果：	ダメージロール直前　ダメージ+5D　ラウンド1回							
アニマルアタック★動物使い	3	2	メジャー	視界	-	<R/交>	D	
効果：	射撃　攻撃力+12(16)　シナリオ3回							
テレキネシス	★		メジャー			(RC)		
効果：	ポルターガイストを起こす							
虹の香り	★		メジャー			(RC)		
効果：	死臭を隠す							
効果：								
効果：								
効果：								

ミドルですごい服を購入しておく。

「フ、フフ……どう、この服……"ネクロマンサー"っぽくない……?」
「こんなわたしでも、誰かの役に立てるなら」

物静かなUGNチルドレンの少女。幼少期に保護された。
死者を操る特有の能力を持つが、それ故周りと距離を置きがち。
中学校に通っているものの、友達は少なく、たいてい一人で本を読んでいる。
だが、積極的に話しかけてくる相手を拒んだりはしない。

あずらの因子は人間の死体に強く反応し、自身の『領域』内であれば、
さながら死霊術師のように自在に操ることができる。
その気になれば、今殺した敵エージェントを手駒にすることも可能。
だが倫理的な問題を抱え、気分のいい能力でもないため、チルドレンの施設でも隔離されており、任務に駆り出されることも少ない。
やむを得ず出撃する場合は、秘密裏に提供されている、
殉職したエージェントの死体を特製キャリーケース(ウェポンケース)に突っ込んで持ち歩く。

両親は元々育児放棄ぎみで、愛されずに育った。
唯一よくしてくれた祖母は幼少期に亡くなってしまい、その葬式で"力"に目覚めて、祖母を"蘇らせて"しまう。
このことでUGNに発見され、チルドレンとして保護される。
事件の際、回りから向けられた拒絶の視線が、あずら自身にもトラウマとして記憶されており、
自身の力を嫌う直接の要因となっている。